



ROCK PAINT

ネオウォーターベース

環境対応型 1液水性ベースコート

商品概要・用途

ネオウォーターベースは、「人と環境に優しい」各種法規制に対応した1液型の水性ベースコート塗料です。初心者でも扱いやすく、溶剤塗料に匹敵する塗膜性能、高い仕上り外観品質を備えた独自開発の塗料であり、初代ウォーターベースとロングセラープロタッチの利点を高度にバランスさせた新しい水性ベースコート塗料です。

品目コード(品番・缶種)・品名(ネオウォーターベース～) / 商品外観

主剤

ソリッドカラー原色 (一般原色 / HG原色 / その他原色)	41色	} 100色
メタリックカラー原色	13色	
パールカラー原色	33色	
特殊原色	13色	

希釈剤	979-0904-01/02/03	リデュースα1
硬化剤	979-0140-6A	WB硬化剤
高希釈剤	979-0909-03	ハイリデュース 標準型
	979-0911-03	ハイリデュース 超遅乾型

添加剤 979-0916-02 レベライザーM
 ※ 詳細は『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。

ボカシ際処理剤 979-4951-02 プレップアンダークリヤーⅡ
 979-4953-02 プレップレギュレーター(標準型)
 979-4955-02 プレップレギュレーター(遅乾型)
 ※ 詳細は『ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ』のTDSを参照してください。

水溶性洗浄剤 979-0800-01/03 ガンクリーナー

水溶性脱脂剤 979-0803-02 プレクリーナーⅡ
 ※ 詳細は本TDS内の 商品一覧及び「塗装機器の洗浄について」「脱脂作業について」を参照してください。



特長

- ・労働安全衛生法に基づく特定化学物質障害予防規則・有機溶剤中毒予防規則 非該当、PRTR届出不要の環境対応型塗料。(2025年3月現在)
- ・高顔料濃度設計がもたらす高い隠ぺい性と、優れたボカシ際のなじみ性を合わせ持つ高バランス設計。
- ・独自のアルミ高分散化技術とレオロジーコントロールによるムラの少ない安定した配向性、高外観品質。
- ・VOC排出量、塗料使用量、塗装時の帯電量、さらに溶剤臭気も、溶剤塗料より低減します。

主原料

水性ポリウレタン樹脂

目 次

1. ネオウォーターベース 標準塗装仕様 概要 P3~4
 《 硬化剤配合条件 》《 希釈剤配合条件 》《 柔軟仕上げ塗装仕様 》

2. ネオウォーターベース 商品関連 P5~8
 《 商品一覧 》《 HGホワイト原色の使用方法 》《 アルミアジスターの使用方法 》
 《 ハイリデューサー 標準型 / 超遅乾型の使用方法 》
 《 調色作業支援 / 補助ツール(ロックペイント販売品) 》
 《 保護具 / 安全衛生 》《 保管条件 / 貯蔵安定期間 》《 語句説明 》

3. ネオウォーターベース 標準塗装条件 P9~11
 《 塗り重ね可能 TCC(トップコートクリアー) 》
 《 適用下塗り塗料(プラサフ) 》《 標準下地処理 》《 脱脂作業方法 》《 塗装機器の洗浄方法 》
 《 取扱い注意事項 》《 可使時間 》《 スプレーガン条件 》《 塗装方法 》《 レベライザーMの使用方法 》

4. ネオウォーターベース 標準塗装仕様 P12~23
 ■2CS(2コートソリッド) 《 ホワイト系(HGホワイト使用) 》《 レッド系 》《 その他ソリッド塗色 》
 ■2CM/P(2コートメタ/パール)
 ■3CP(3コートパール) 《 ホワイト系(HGホワイト使用) 》
 ■3CC(3コートカラークリアー)

5. 補修塗膜構成 / 色タイプ総合マトリックス P24

ピクトグラム



ネオウォーターベース

For Professional Use Only

標準塗装仕様 概要

色タイプ	ベースコート 標準配合条件		標準膜厚	掲載ページ
■2CS(2コートソリッド)				
ホワイト系	※ プラサフ:HBC-1 を必ず塗装			
CL1	100	ネオウォーターベース (ホワイト系ソリッド塗色)	30~50 μm	P12~13
	20~45	ネオウォーターベース リデュースα1		
レッド系	※ プラサフ:配合データに表示されるHBC-NO.を塗装			
CL1	100	ネオウォーターベース (レッド系ソリッド塗色)	30~50 μm	P14~15
	15~60	ネオウォーターベース リデュースα1		
その他ソリッドカラー	※ プラサフ:配合データに表示されるHBC-NO.を塗装			
CL1	100	ネオウォーターベース (その他ソリッド塗色)	15~50 μm	P16~17
	30~60	ネオウォーターベース リデュースα1		
■2CM/P(2コートメタ/パール)				
	※ プラサフ:配合データに表示されるHBC-NO.を塗装			
CL1	100	ネオウォーターベース (メタ/パール)	15~30 μm	P18~19
	15~45	ネオウォーターベース リデュースα1		
■3CP(3コートパール)				
ホワイト系	※ プラサフ:HBC-1 を必ず塗装			
CL2	100	ネオウォーターベース (パール)	5~15 μm	P20~21
	40~70	ネオウォーターベース リデュースα1		
CL1	100	ネオウォーターベース (ソリッド)	30~50 μm	
	20~45	ネオウォーターベース リデュースα1		
■3CC(3コートカラークリヤー)				
	※ プラサフ:配合データに表示されるHBC-NO.を塗装			
CL2	100	ネオウォーターベース (カラークリヤー)	15~30 μm	P22~23
	40~70	ネオウォーターベース リデュースα1		
CL1	100	ネオウォーターベース (メタ/パール)	15~30 μm	
	15~45	ネオウォーターベース リデュースα1		

- ・ CL1= カラーレイヤー1 1段目の色の層 CL2= カラーレイヤー2 2段目の色の層
- ・ HBC-1 = アンダーカラーシステム HBカラー明度設定 1(ホワイトL90相当)
- ・ HBC-NO.= アンダーカラーシステム HBカラー明度設定 1~5(7階層)
- ・ アンダーカラーシステム

上塗り塗色の隠ぺい性向上に効果的な明度設定をする下地カラーシステムです。

7階層(HBC-NO. 1 / 1.5 / 2 / 2.5 / 3 / 4 / 5)で構成され、NO.1のホワイトからNO.5のブラックまで段階的に明度がダウンします。

ネオウォーターベース

For Professional Use Only

硬化剤配合条件

塗膜性能を確保するため、以下の場合に硬化剤を必ず配合してください。

1. ボンネットやドア部の裏吹き、ボディー内板部でクリアーコートを省略する場合。
2. 塗色によって特別な塗装仕様が設定され、硬化剤の配合記載がある場合。

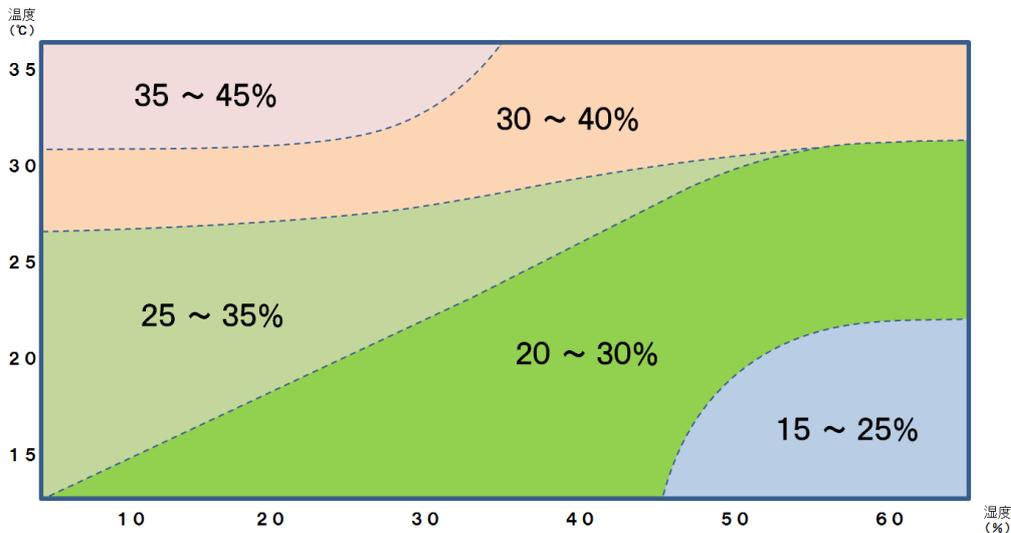


※ 硬化剤を配合する場合には、主剤と混合した時点で良く攪拌を行った後に、希釈剤と混合してください。

希釈剤配合条件

- ・ 塗装時の配合は、基本的に主剤と1種類の希釈剤のみを混合するシンプルで使いやすい設計です。
- ・ 希釈の際は、専用希釈剤 979-0904 リデューサーα1を必ず使用してください。
- ・ 温度、湿度のファクターに応じてリデューサーα1の希釈率を選定ください。
- ・ 温度、湿度のファクターは、乾燥性に影響し乾燥時間に差が生じます。別紙の「希釈率&スプレーガン設定表」を参照し、塗装ファクター（塗装環境、スプレーガン、塗装面積・部位）を考慮して希釈率を選定ください。
- ・ 希釈率&スプレーガン設定表（別紙）の詳細は、弊社営業部にお問合せください。

例) 色タイプ:2CM/Pの標準希釈率



柔軟仕上げ塗装仕様

- ・ 樹脂パーツ等の塗装で塗膜に可とう性を付与する(柔軟仕上げ)場合、



ネオウォーターベースに柔軟性硬化剤の配合は不要です。標準塗装仕様のままで、十分な可とう性能が得られます。

- ・ プラサフ、トップコートクリアーで柔軟仕上げを行う際には、各TDSを参照してください。

ネオウォーターベース

For Professional Use Only

商品一覧 (品番 : 979-**** / 品名 : ネオウォーターベース ~)

■ ソリッド 原色 【41色】

分類	品番	品名	容量 (kg)	
			0.9	0.45
一般	0016	リッチマルーン		○
	0017	ディープマルーン		○
	0018	クリアーレッド		○
	0030	チンチングブラック	○	
	0034	フレッシュレッド		○
	0036	ファーストバイオレット		○
	0047	ガーネットレッド		○
	0048	マゼンタ		○
	0055	サニーオレンジ		○
	0056	ブライトエロー		○
	0057	インドオレンジ		○
	0062	ビビットエロー		○
	0064	トランスエロー		○
	0067	ベネチアンレッド		○
	0069	マホガニー		○
	0070	フェリックスレッド		○
	0071	フレッシュブルー		○
	0072	レイクブルー		○
	0073	ライムグリーン		○
	0076	シアニンググリーン		○
0077	Y.S.グリーン		○	
0078	ディープブルー		○	
0082	オリエントブルー		○	
0083	インダンスレンブルー		○	
その他	0095	フラットベース	○	○
	0150	ニゴリクリヤー	3.6	
	0160	アルミアジャスター	○	
一般	0204	ホワイト	○	
	0225	オキサイドレッド		○
	0233	オーカー		○
	0234	ブラック	3.6	
	0250	ゼットブラック	3.6	
HG	1010	HGブライトレッド	○	
	1011	HGビビットレッド	○	
	1039	HGスーパーレッド		○
	1053	HGオーガニックオレンジ		○
	1204	HGホワイト	3.6	
T (1/10)	T030	チンチングブラック1/10		○
	T077	Y.S.グリーン1/10		○
	T078	ディープブルー1/10		○
	T225	オキサイドレッド1/10		○

■ メタリックカラー原色 【13色】

タイプ	品番	品名	容量 (kg)	
			3.6	0.9
一般	0085	メジウムメタリック		○
ホワイト	0086	ファインメタリック		○
一般	0087	コースメタリック		○
光輝性	0088	ブライトメタリック	○	○
	0093	スパークルメタリック		○
ホワイト	0094	ホワイトメタリック		○
光輝性	0096	スターファインメタリック		○
	4004	スターサンドメタリック		○
	4006	スノーメジウムメタリック	○	○
	4007	スノーコースメタリック	○	
	4009	スターメタリックコース	○	
	4051	シルキーメタリック		○
4053	ブリリアントメタリック		○	

■ 特殊原色 【13色】

分類	品番	品名	容量
蒸着アルミ	0103	フラッシュメタリック	0.45 kg
マイクロチタン	0201	オパールホワイト	
ガラスフレーク	0410	クリスタルフレーク ファイン	
着色メタリック	0452	ゴールドメジウムメタリック	
	0453	オレンジファインメタリック	
	0454	メタリックベースゴールド	
	0455	メタリックベースオレンジ	
構造発色	0457	ブルーシャインメタリック	
	0460	プレシャスブルー フレーク ※①	100 ml
	0470	クロマ グリーンパープル ※②	
	0472	クロマ ブルーレッド ※③	
	0474	クロマ レッドゴールド ※④	
0475	クロマ ゴールドシルバー ※⑤		

※①、②、③、④、⑤は、受注生産品。

ネオウォーターベース

For Professional Use Only

商品一覧 (品番:979-****/品名:ネオウォーターベース ~)

■ パールカラー原色【33色】

タイプ	品番	品名	容量	
			0.9 kg	300 ml
干渉	0304	パールベース B		○
着色	0305	パールベース C		○
干渉	0306	パールベース P		○
	0310	パールベース3B		○
着色	0314	パールベース2R		○
干渉	0315	パールベース V		○
	0316	パールベース G		○
ホワイト	0320	パールベース5W		○
干渉	0321	パールベース4B		○
	0325	パールベース3Y		○
ホワイト	0326	パールベース6W		○
	0328	パールベース7W		○
	0330	パールベース8W	○	
干渉	0331	パールベース5G		○
着色	0332	パールベース3C		○
	0333	パールベース5R		○
干渉	0334	パールベース5Y		○
着色	0335	パールベースYC		○
干渉	0336	パールベース5B		○
	0337	パールベース2V		○
	0338	パールベース6G		○
	0339	パールベース2P		○
	0340	パールベースGV		○
着色	0341	パールベースGL		○
干渉	0342	パールベース3V		○
ホワイト	0343	パールベース9W		○
干渉	0344	パールベースPS		○
	0346	パールベースOG		○
	0347	パールベースBS		○
ホワイト	0351	パールベース W	○	
	0357	パールベース2W		○
	0359	パールベース3W		○
	0363	パールベース10W		○

■ その他周辺剤【10品】

カテゴリー	品番	品名	容量
硬化剤	0140	WB硬化剤	100g
洗浄剤	0800	ガンクリーナー	16L/1L
脱脂剤	0803	プレクリーナー II	3.5L
希釈剤	0904	リデュースα1	16L/3.5L/1L
高希釈剤	0909	ハイリデュース 標準型	1L
	0911	ハイリデュース 超遅乾型	
添加剤	0916	レベライザーM	3.5L
ボカシ際処理剤	4951	プレップアンダークリヤー II	3.5L
	4953	プレップレギュレーター(標準型)	
	4955	プレップレギュレーター(遅乾型)	

※ プレクリーナー II の使用方法は、『ネオウォーターベース プレクリーナー II』のTDSを参照してください。

※ レベライザーMの使用方法は、『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。

※ プレップアンダークリヤー II の使用方法は、『ネオウォーターベース プレップアンダークリヤー II』のTDSを参照してください。

ネオウォーターベース

For Professional Use Only

HGホワイト原色の使用方法



- ・ 配合前によく攪拌してください。使用後は他の原色と同様にロック アジテーターカバーWBの注ぎ口を必ずきれいに拭いてから保管してください。
- ・ ネオウォーターベース原色の特性上、外気に触れることで造膜片(ブツ)を生じる場合があります。特にHGホワイト原色はその傾向が強くなるので、他の原色を使用する場合と同様に塗装前には必ずストレーナーでろ過してからご使用ください。

アルミアジスターの使用方法



- ・ アルミアジスター(979-0160)は、77GHzレーダセンサ搭載車のバンパ修理専用設計された配合に使用します。
- ・ 調色配合データ検索システム(RCMD)、オートカラーレシピ(アプリ)で「77GHzレーダセンサ対応」の配合検索時、アルミアジスター(979-0160)が配合されている場合に指定の配合量で使用してください。

※「77GHzレーダセンサ対応」配合データ

トヨタ自動車はドライバー運転支援の周辺検知性能の向上を目的に、ミリ波 [77GHz] レーダセンサを搭載した車両を2022年11月より新型車に採用。今後、順次搭載予定です。

このセンサは、塗膜中のアルミ顔料の影響を受けやすい為、バンパの内側にセンサが配置される場合には、センサ検知性能に影響のないことが確認された配合データにてバンパ塗装を行う必要があります。

「77GHzレーダセンサ対応」の配合データは、センサ検知性能に影響のないことが確認された配合データです。

※ 77GHzレーダセンサ搭載車のバンパ補修時の注意点

必ず自動車メーカーが発行する「ボデー修理書」を修理対象の車種ごとに入手の上、修理上の注意事項を順守して作業を実施してください。

※ 「ボデー修理書」の入手方法につきましては、自動車販売会社へお問い合わせください。

ハイリデューサー 標準型 / 超遅乾型の使用方法



- ・ ハイリデューサー 標準型(979-0909) / 超遅乾型(979-0911)は、高希釈剤です。
- ・ 単体で希釈剤として使用することはできません。必ず希釈済塗料(主剤:リデューサーα1)に対して添加し、使用してください。
- ・ 使用方法(添加量など)は、ハイリデューサーを使用する塗色・塗装仕様書を参照してください。

調色作業支援 / 補助ツール (ロックペイント販売品)

■水性塗料用保温機能付攪拌棚

種類	品番	品名
保温庫	099-0800-90	ロック ヒーティングボックス WB
攪拌機	099-0810-90	ロック パワーセルビング Pro 220
攪拌機用 モーター	099-0821-90	ロック パワーセルビング Pro用 100V モーター
	099-0822-90	ロック パワーセルビング Pro用 200V モーター *オプション品
収納用棚板	099-0823-90	ロック パワーセルビング Pro 220用 バックストレージキット *オプション品
アジテーター カバー	099-0888-90	ロック アジテーターカバー Pro ガロン缶用
	099-0889-90	ロック アジテーターカバー Pro コート缶用
	099-0890-90	ロック アジテーターカバー Pro パイント缶用
プラット フォーム	099-0824-90	ロック パワーセルビング Pro用 プラットフォーム(パイント缶用)
	099-0825-90	ロック パワーセルビング Pro用 プラットフォーム(コート缶用) *オプション品
手回しハンドル	099-0887-90	ロック アジテーターカバー Pro用 クランクハンドル *オプション品

ネオウォーターベース

For Professional Use Only

調色作業支援 / 補助ツール (ロックペイント販売品)

■比色用カラーカード

AAA-0W12~17 HBカラーカードWB HBC-1~5

※ HBC-1(ホワイト)は各カード裏面を使用してください。

各50枚/袋



AAA-0W12~17
HBカラーカードWB HBC-1~5

保護具 / 安全衛生



- ・適切な安全保護具を装着してください。
- ・詳細は安全データシート(SDS)を参照してください。

保管条件 / 貯蔵安定期間 (品名:ネオウォーターベース ~)



・主剤 (ソリッド原色、メタリック原色) (特殊原色【分類:クロマを除く】)	: 5°C~35°C / 2年間 (未開封時)
・主剤 (パールカラー原色、特殊原色【分類:クロマのみ】)	: 5°C~35°C / 3年間 (未開封時)
・プレップアンダーク라이어 II (主剤)	: 5°C~35°C / 3年間 (未開封時)
・WB硬化剤	: 5°C~40°C / 3年間 (未開封時)
・希釈剤、その他周辺剤	: 5°C~35°C / 5年間 (未開封時)

- ・保管温度は、20°C一定が最適です。
- ・水性塗料用保温機能付攪拌棚にて保管してください。
- ・急激な温度変化がある環境や、直射光下での保管は回避してください。
- ・完全に凍結した商品の再利用はできません。部分凍結した商品は色調の変化や品質低下の可能性がります。また、高温条件下での保管も同様の可能性がります。
- ・開封後の長期保存品は、増粘・ゲル化などの性状を呈する可能性がります。

語句説明

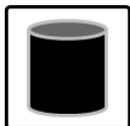
トップコートク라이어(TCC)	塗膜構成のなかで、最終コートするク라이어層。
アンダーコートク라이어(UCC)	塗膜構成のなかで、中間でク라이어コートして乾燥し、中研ぎ工程を行うもの。
トップコート ソリッドカラー(TCS)	上層にク라이어層を有することなくカラー層単独で色づけし、補修塗膜を構成するソリッドカラー。
カラーク라이어 カラーベース	ソリッドカラー原色+ベースコート用ク라이어で構成され、透明性(彩度)が高い色づけが付与されたカラーベース。
カラーベース	ク라이어層を有して色づけするカラー層。1層(CLI)または複数で塗膜構成される。
ボカシ際処理剤	ネオウォーターベース レベライザーM
ボカシ剤	ボカシ際処理剤
ク라이어ボカシ剤塗装	ク라이어用のボカシ際処理剤で、トップコートク라이어を段階的に薄めて塗装すること。

■Copyright © 2025 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.

本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

ネオウォーターベース 標準塗装条件

塗り重ね可能 TCC(トップコートクリヤー)



■環境配慮型 通常クリヤー

149L エコロック クリヤー各種

※ 149-5145 エコロック ユーティリティクリヤーM、149-1150 エコロック プレストクリヤーは使用できません。

詳細は、各種クリヤーのTDSを参照してください。

■環境配慮型 高機能性クリヤー

・エコロック 耐擦傷性クリヤーT

TOYOTA全車(一部セルフリストアリングコート採用車あり)に採用されているハイソリッドクリア(耐スリ傷性向上クリヤー)の補修用クリヤーとして設計。

通常クリヤーに比べ耐スリ傷性の向上を図っていますので、耐スリ傷性を有した自動車補修用クリヤーに適しています。

・エコロック 耐擦傷性クリヤー

NISSAN車に採用されているS.F.H.C(スーパーファインハードコート)の補修用クリヤーに適合。

・エコロック アンチスクラッチクリヤーBP

LEXUSおよび一部のTOYOTA車に採用されているセルフリストアリングコート(自己修復性耐スリ傷塗装)の補修用クリヤーに適合。

・エコロック フルマットクリヤー

耐擦傷性を有するマット塗装専用のトップコートクリヤーです。

詳細は、各種クリヤーのTDSを参照してください。

■艶消しクリヤー仕上げ塗装仕様について

・ 979ライン ネオウォーターベースで艶消しクリヤー仕上げを行う際は、カラーベースに硬化剤の配合は不要です。各塗装仕様に準じてそのまま塗装してください。

・ 艶消し仕上げで塗装する際には、『エコロック フルマットクリヤー』または『エコロック マットクリヤーベース』のTDSを参照してください。

・ 149-8495 エコロック フルマットクリヤーと149-0095 エコロック マットクリヤーベースは、混合使用できません。

ネオウォーターベース 標準塗装条件

For Professional Use Only

適用下塗り塗料(プラサフ)



202L ロック プラサフ クライマックス、ロック プラサフ ネクストステージ
詳細は各種TDSを参照してください。

標準下地処理



- ・ 塗色の配合データに表示されるHBC-NO.を確認し、指定されたアンダーカラー色を下塗りにしてください。
- ※ 配合データおよびHBC-NO.の更新が行われる場合がございます。弊社ホームページもしくは自補修塗料配合データ検索アプリ「オートカラーレシピ」で最新のデータをご確認ください。



- ・ プラサフを研磨する際は、下地を研ぎ出さないよう注意して研磨してください。

工程	作業要領	ポイント
プラサフ	 <ul style="list-style-type: none"> ●ロック プラサフ クライマックス、ロック プラサフ ネクストステージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品のTDS、カタログを参照。 ・ 指定のHBCカラーNO.を下塗りに使用する。
	 <ul style="list-style-type: none"> 空研ぎ P600以上^{※1} / 水研ぎ P800程度 	<ul style="list-style-type: none"> ※1 ダブルアクションサンダー(ソフトパッド付)
足付け	 <ul style="list-style-type: none"> ホカン剤塗装部位:P1500~P2000程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足付けは、被塗面の艶が無くなるまで均一に行う。 ・ クリヤーホカン剤塗装部位については、『エコマルチ プレンダー / スロー』のTDSを参照してください。
脱脂	 <ul style="list-style-type: none"> ●プレソル31(除電タイプ 標準型) ※ 高温時はプレソル32(除電タイプ 遅乾型) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被塗面を濡らすように拭き、乾かないうちに別の清潔なウエスで拭き取る。
	<ul style="list-style-type: none"> ●プレクリーナー II (水性系脱脂剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拭き残しがないよう注意。金属面への使用は不可。

脱脂作業方法



- ・ 塗膜性能を最大限に発揮するために、入念な脱脂作業が大切です。溶剤系脱脂剤(プレソルシリーズ)と水性系脱脂剤を使用した2段階脱脂を推奨します。
- ・ 水性系脱脂剤(プレクリーナー II)は金属素地面には使用できません。プラサフ研磨の際は金属素地を研ぎ出さないよう注意してください。
- ・ 詳細は『プレソルシリーズ & 静電気除去剤』、『プレクリーナー II』のTDSを参照してください。

塗装機器の洗浄方法



- ・ 塗装終了後、速やかに洗浄してください。塗膜が乾燥(造膜)すると堅固に付着します。
- ・ 液状の塗料及び造膜化初期の塗膜が付着している際は、次の順で洗浄剤を使用してください。
[水道水 → ガンクリーナー → 水道水]
- ・ ガンクリーナーを使用後は、水道水で十分に濯ぎ洗いを実施してください。
- ・ 乾燥(造膜)した塗膜は、溶剤系の洗浄用シンナー等を使用して除去してください。

取扱い注意事項



- ・乾燥時間は種々の塗装条件(膜厚 / 温度 / 湿度等)によって変化します。
- ・ネオウォーターベース塗装の際は、推奨の設備、周辺機器、副資材類を使用してください。
- ・水性塗料と溶剤塗料の混合は出来ません。区別して洗浄作業・廃棄をしてください。
- ・凝集分離剤 ロックリサイクルパウダー(ロック商事取扱品)使用後の再生水は、排水溝や地面に直接廃棄できません。法令、地域条例に遵守の上、適切に処理をしてください。
- ・水性塗料を廃棄する際は、溶剤塗料と同様に許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約の上、処理委託してください。

可使時間



- ・希釈前の配合塗料 : 原則、当日中に使用してください。長期間の保存は回避ください。
 - ・希釈済み配合塗料 : 12時間以内に使用してください。
 - ・WB硬化剤を配合した希釈済み配合塗料
例) 40%希釈 20°C / 3時間 30°C / 2時間
- ※十分に攪拌してから希釈して使用してください。
- ※希釈済み配合塗料は、早めの使用を励行ください。
時間経過するとメタリック / パール色では顔料分が沈降し、ブツ等が発生する可能性があります。さらに色調変化も誘発し、色の再現性が低下する可能性があります。

スプレーガン条件



- スプレーガン口径 1.3~2.0mm
スプレー圧力 0.10~0.18MPa (手元圧力)
※スプレー圧力は、ご使用になるスプレーガンで変動します。

塗装方法



- 塗装方法については、本TDS内の各塗装仕様書(ブロックまたはタッチアップ塗装)を参照してください。
- ※希釈率は希釈率&スプレーガン設定表(別紙)を参照してください。
- ※液温15°C以上で使用してください。

レベライザーMの使用方法



- ・ネオウォーターベースのカラーベースに添加して、塗膜のレベリング現象を促進させる添加剤です。
- ・主にスプレーミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下で使用します。
- ・添加効果の高い塗色はメタリック/パールカラー系で、最終塗装工程となる【ムラ取り】工程に添加することで、仕上り外観品質の向上に寄与します。
- ・ソリッドカラーにも使用が可能です。タッチアップ塗装時の【ボカシ】塗装時に同様に添加して使用してください。
- ・詳細は『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。

■ 2CS ホワイト系(HGホワイト 使用) ブロック塗装仕様



- ・ 1コート毎の塗り込み量に注意し、塗り込み過ぎないようにしてください。
- ※ 塗り込み量目安:ブロック塗装【色決め】3回 約40 μ m
- ・ HGホワイト原色使用時はCL1工程の最終カラーベース塗装後、すぐにエアブローは行わず、5分間そのままセッティングを取ってください。その後、推奨ブロワーガンにてエアブロー、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥を行ったのち、更に10分以上エアブローを継続させてからクリヤーを塗装してください。
- ※ 5分間放置することにより、クリヤーコート時のハジキの発生を抑制する効果があります。

配合:重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	 【色決め】	●カラーベース1	・ 艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・ ガン距離:10~15cm (ミディアムコート)
	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ソリット 100</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">:</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">979-0904 リデュサー-α1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">20~45</div> </div>	・ 1回目よりパターン幅を重ね、艶、肌が均一になるように塗装する。 ・ ガン距離:10~15cm (ミディアムコート)	
		塗装後、自然乾燥で5分間放置 5分後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う	・ ブロワーガンは使用しないこと。 ・ 推奨のブロワーガンを使用する。
	TCC	●本TDS P9《 塗り重ね可能TCC 》を参照してください。	・ 商品のTDSを参照してください。

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブロワーガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※再補修する際は使用されたTCCの仕様書に準じて乾燥後、さらに60 $^{\circ}$ C \times 60分以上乾燥させてから行ってください。

■ 2CS ホワイト系(HGホワイト 使用) タッチアップ塗装仕様



・HGホワイト原色使用時はCL1工程の最終カラーベース塗装後、すぐにエアブローは行わず、5分間そのままセッティングを取ってください。その後、推奨ブローガンにてエアブロー、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥を行ったのち、更に10分以上エアブローを継続させてからクリヤーを塗装してください。

※ 5分間放置することにより、クリヤーコート時のハジキの発生を抑制する効果があります。

配合:重量比

工程		作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	ボカシ剤	●ネオウォーターベース ボカシ剤 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-4951 プレップアンダークリヤーⅡ 100 </div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-495* プレップレギュレーター 100～120 </div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ボカシ剤が乾燥する前にカラーベースを塗装する。 詳細は『ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ』のTDSを参照してください。 ガン距離：40～50cm
	【色決め】	●カラーベース1 (A) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ソリッド 100 </div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-0904 リデュサーα1 20～45 </div> </div>	2	<ul style="list-style-type: none"> プラサフ部分を拾い塗り、艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 1回目よりも広めに艶、肌を保ちつつ塗り広げる。 ガン距離：10～15cm (ミディアムコート)
	【ボカシ】		1～2	<ul style="list-style-type: none"> 塗り込み量を少なめに手首を振りながら、ボカシ塗装を行う。 ガン距離：15～25cm
	レベライザーM 使用時の【ボカシ】	(A) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 100 </div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-0916 レベライザーM 20～50 </div> </div>	1～2	<ul style="list-style-type: none"> ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下での使用を推奨します。 レベライザーM添加後、【ボカシ】と同様の工程を行ってください。 詳細は、『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。
		塗装後、自然乾燥で5分間放置 5分後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> ブローガンは使用しないこと。 推奨のブローガンを使用する。
TCC	●本TDS P9《塗り重ね可能TCC》を参照してください。			<ul style="list-style-type: none"> 商品のTDSを参照してください。

※ 各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※ 各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※ 各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※ クリヤーボカシ塗装の際は『エコマルチブレンダー/スロー』のTDSを参照してください。

■ 2CS レッド系 ブロック塗装仕様



- ・ 1コート毎の塗り込み量に注意し、塗り込み過ぎないようにしてください。
- ※ 塗り込み量目安:ブロック塗装【色決め】3回 約40 μ m
- ・ HGレッド原色使用時はCL1工程の最終カラーベース塗装後、すぐにエアブローは行わず、5分間そのままセッティングを取ってください。その後、推奨ブロワーガンにてエアブロー、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥を行ったのち、更に10分以上エアブローを継続させてからクリヤーを塗装してください。
- ※ 5分間放置することにより、クリヤーコート時のハジキの発生を抑制する効果があります。

配合:重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	●カラーベース1 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ソリット 100</div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">979-0904 リデュサー-α1 15~60</div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・ ガン距離:10~15cm (ミディアムコート)
		2~4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目よりパターン幅を重ね、艶、肌が均一になるように塗装する。 ・ ガン距離:10~15cm (ミディアムコート)
	塗装後、自然乾燥で5分間放置 5分後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> ・ ブローガンは使用しないこと。 ・ 推奨のブローガンを使用する。
TCC	●本TDS P9 《 塗り重ね可能TCC 》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品のTDSを参照してください。

※ 各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブロワーガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※ 各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※ 各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※ 再補修する際は使用されたTCCの仕様書に準じて乾燥後、さらに60 $^{\circ}$ C×60分以上乾燥させてから行ってください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 2CS レッド系 タッチアップ塗装仕様



- ・HGLレッド原色使用時はCL1工程の最終カラーベース塗装後、すぐにエアブローは行わず、5分間そのままセッティングを取ってください。その後、推奨ブローガンにてエアブロー、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥を行ったのち、更に10分以上エアブローを継続させてからクリヤーを塗装してください。

※ 5分間放置することにより、クリヤーコート時のハジキの発生を抑制する効果があります。

配合：重量比

工程		作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	ボカシ剤	●ネオウォーターベース ボカシ剤 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-4951 プレップアンダークリヤーⅡ 100 </div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-495* プレップレギュレーター 100～120 </div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ボカシ剤が乾燥する前にカラーベースを塗装する。 ・詳細は『ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ』のTDSを参照してください。 ・ガン距離：40～50cm
	【色決め】	●カラーベース1 (A) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ソリッド 100 </div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-0904 リデュサーα1 15～60 </div> </div>	1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・プラサフ部分を拾い塗り、艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・1回目よりも広めに艶、肌を保ちつつ塗り広げる。 ・ガン距離：10～15cm（ミディアムコート）
	【ボカシ】		1～2	<ul style="list-style-type: none"> ・塗り込み量を少なめに手首を振りながら、ボカシ塗装を行う。 ・ガン距離：15～25cm
	レベライザーM 使用時の【ボカシ】	(A) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 100 </div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-0916 レベライザーM 20～50 </div> </div>	1～2	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下での使用を推奨します。 ・レベライザーM添加後、【ボカシ】と同様の工程を行ってください。 ・詳細は、『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。
		塗装後、自然乾燥で5分間放置 5分後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> ・ブローガンは使用しないこと。 ・推奨のブローガンを使用する。
TCC		●本TDS P9《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・商品のTDSを参照してください。

※ 各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※ 各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※ 各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※ クリヤーボカシ塗装の際は『エコマルチブレンダー/スロー』のTDSを参照してください。

■ 2CS その他ソリッド塗色 ブロック塗装仕様



- ・ 1コート毎の塗り込み量に注意し、塗り込み過ぎないようにしてください。
- ※ 塗り込み量目安: ブロック塗装【色決め】3回 約40 μ m

配合: 重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	●カラーベース1 <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ソリッド 100</div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">979-0904 リデュサー-Q1 30~60</div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・ ガン距離: 10~15cm (ミディアムコート)
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目よりパターン幅を重ね、艶、肌が均一になるように塗装する。 ・ ガン距離: 10~15cm (ミディアムコート)
		1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終コートはガン距離を離し、塗り込み量が控えめになるように塗装する。 ・ ガン距離: 15~20cm (ライトコート)
	塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> ・ 推奨のフローガンを使用する。 ・ 全体の艶が均一に引いてからの時間。
TCC	●本TDS P9《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品のTDSを参照してください。

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※再補修する際は使用されたTCCの仕様書に準じて乾燥後、さらに60℃×60分以上乾燥させてから行ってください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 2CS その他ソリッド塗色 タッチアップ塗装仕様

配合：重量比

工程		作業要領	塗装回数	ポイント
ポカシ剤		●ネオウォーターベース ポカシ剤 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">979-4951 プレップアンダークリアーⅡ 100</div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">979-495* プレップレギュレーター 100～120</div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ポカシ剤が乾燥する前にカラーベースを塗装する。 ・詳細は『ネオウォーターベース プレップアンダークリアーⅡ』のTDSを参照してください。 ・ガン距離：40～50cm
	CL1	●カラーベース1 (A) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ソリッド 100</div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">979-0904 リデュサーα1 30～60</div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・プラサフ部分を拾い塗り、艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・ガン距離：10～15cm（ミディアムコート）
	【色決め】		2	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目よりも広めに艶および肌を保ちつつ塗り広げる。 ・ガン距離：10～15cm（ミディアムコート）
	【ホカシ】		1～2	<ul style="list-style-type: none"> ・塗り込み量を少なめに手首を振りながら、ホカシ塗装を行う。 ・ガン距離：15～20cm（ライトコート）
	レベライザーM 使用時の【ホカシ】	(A) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">100</div> ： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">979-0916 レベライザーM 20～50</div> </div>	1～2	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下での使用を推奨します。 ・レベライザーM添加後、【ホカシ】と同様の工程を行ってください。 ・詳細は、『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。
		塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> ・推奨のフローガンを使用する。 ・全体の艶が均一に引いてからの時間。
TCC		●本TDS P9《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・商品のTDSを参照してください。

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※クリアーポカシ塗装の際は『エコマルチブレンダー/スロー』のTDSを参照してください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 2CM/P ブロック塗装仕様



- ・ CL1:メタ/パール【色決め】塗装回数は、隠ぺいを目安としてください。塗装回数低減は、仕上り品質(塗り肌)向上を図ります。

配合:重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	 【色決め】	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・ ガン距離:10~15cm (ミディアムコート)
	<div style="text-align: center;">(A)</div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">メタ/パール 100</div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">979-0904 リデューサーα1 15~45</div> </div>	1~4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガン距離をやや離し、パターン重ね幅を多くし、塗りこみすぎでムラを出さないように注意する。 ・ ガン距離:15~20cm (ミディアムコート)
	【ムラ取り】	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガン距離を更に離し、ストロークスピードは遅めで、パターン重ねを多く取りながら、ゆっくりと塗装する。 ・ ガン距離:20~25cm (ライトコート)
	レペライザーM 使用時の【ムラ取り】	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ エア圧を下げ、ガン距離を更に離し、吐出量を上げて、ストロークスピードは同じくゆっくりで仕上げ塗装する。 ・ ガン距離:25~35cm (ドロップコート)
	塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下での使用を推奨します。 ・ レペライザーM添加後、【ムラ取り】と同様の工程を行ってください。 ・ 詳細は、『ネオウォーターベース レペライザーM』のTDSを参照してください。
TCC	●本TDS P9《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 推奨のブローガンを使用する。 ・ 全体の艶が均一に引いてからの時間。 ・ 商品のTDSを参照してください。

※ 各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※ 各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※ 各乾燥は被塗物とその温度領域に達してからの時間となります。

※ 再補修する際は使用されたTCCの仕様書に準じて乾燥後、さらに60℃×60分以上乾燥させてから行ってください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 2CM/P タッチアップ塗装仕様



- ・ CL1:メタ/パールの【色決め】塗装回数は、隠ぺいを目安としてください。塗装回数低減は、仕上り品質(塗り肌)向上を図ります。

配合:重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント	
ボカシ剤	●ネオウォーターベース ホカシ剤 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-4951 プレップアンダークリアーII 100 </div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-495* プレップレギュレーター 100~120 </div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ボカシ剤が乾燥する前にカラーベースを塗装する。 ・詳細は『ネオウォーターベース プレップアンダークリアーII』のTDSを参照してください。 ・ガン距離:40~50cm 	
CL1	●カラーベース 1 (A)	1~2	<ul style="list-style-type: none"> ・艶、肌が均一になるように配慮して塗装し、塗り込みすぎに注意する。 ・ガン距離:10~15cm (ミディアムコート) 	
	【色決め・ボカシ】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> メタ/パール 100 </div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-0904 リデュサーα1 15~45 </div> </div>	1~4	<ul style="list-style-type: none"> ・ガン距離をやや離し、パターン重ね幅を多くし、極端なボカシ際を出さないよう塗り広げる。 ・ガン距離:15~20cm (ミディアムコート) 	
	【ムラ取り・ボカシ】	1~2	<ul style="list-style-type: none"> ・ガン距離を更に離し、色決め時のボカシ際を確認しながら、パターン重ねを多く塗り広げる。 ・ガン距離:20~25cm (ライトコート) 	
	レベライザーM 使用時の 【ムラ取り・ボカシ】	(A) : <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 100 </div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 979-0916 レベライザーM 20~30 </div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・エア圧を下げ、ガン距離を更に離し、吐出量を上げて、ストロークスピードは遅めでゆっくりと塗り広げる。 ・ガン距離:25~35cm (ドロップコート)
		塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う	2~3	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下での使用を推奨します。 ・レベライザーM添加後、【ムラ取り・ボカシ】と同様の工程を行ってください。 ・詳細は、『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。
TCC	●本TDS P9 《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・推奨のプロワーガンを使用する。 ・全体の艶が均一に引いてからの時間。 ・商品のTDSを参照してください。 	

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物はその温度領域に達してからの時間となります。

※クリアーボカシ塗装の際は『エコマルチブレンダー/スロー』のTDSを参照してください。

■ 3CP ホワイト系 (HGホワイト 使用) ブロック塗装仕様



- ・ CL1: ソリッドは、1コート毎の塗り込み量に注意し、塗り込み過ぎないようにしてください。
- ※ 塗り込み量目安: ブロック塗装【色決め】3回 約40 μ m

配合: 重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント
CL1	 <p>●カラーベース1</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ソリッド 100</div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">979-0904 リデュサー α1 20~45</div> </div>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 艶、肌が均一になるように配慮して塗装する。 ・ ガン距離: 10~15cm (ミディアムコート)
	 <p>塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目よりパターン幅を重ね、艶、肌が均一になるように塗装する。 ・ ガン距離: 10~15cm (ミディアムコート)
CL2	 <p>●カラーベース2</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">パール 100</div> : <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;">979-0904 リデュサー α1 40~70</div> </div>	2~4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調色段階で塗装回数を決定する。 ・ CL1塗装時よりもガン距離を離し、2/3のパターン重ねが必要回数 塗装する。 ・ ガン距離: 25~35cm
	 <p>塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 推奨のフローガンを使用する。 ・ 全体の艶が均一に引いてからの時間。
TCC	●本TDS P9 《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品のTDSを参照してください。

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨フローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物とその温度領域に達してからの時間となります。

※再補修する際は使用されたTCCの仕様書に準じて乾燥後、さらに60°C×60分以上乾燥させてから行ってください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 3CP ホワイト系 (HGホワイト 使用) タッチアップ塗装仕様

配合: 重量比

工程		作業要領	塗装回数	ポイント
ボカシ剤		●ネオウォーターベース ホカシ剤 979-4951 プレップアンダークリアーⅡ : 100 979-495* プレップレギュレーター : 100~120	1	・ホカシ剤が乾燥する前にカラーベースを塗装する。 ・詳細は『ネオウォーターベース プレップアンダークリアーⅡ』のTDSを参照してください。 ・ガン距離: 40~50cm
	CL1	●カラーベース 1 (A) ソリッド : 979-0904 リデュサーα1 100 : 20~45	1	・ブラフ部分を拾い塗り、艶、肌が一になるよう徐々に塗り広げる。 ・ガン距離: 10~15cm (ミディアムコート)
	【ホカシ】		1	・1回目よりも広めに艶、肌を均一に保ちつつ塗り広げる。(ガン設定同じ)
	レベライザーM 使用時の【ホカシ】	(A) : 979-0916 レベライザーM 100 : 20~50	1~2	・塗り込み量を少なめに手首を振りながら、ホカシ塗装を行う。 ・ガン距離: 15~25cm (ミディアムコート)
ニゴリ		(A) : (B) 5 : 95	1~2	・1回目はCL1のホカシ際より少し広めに塗装し、2回目は更に塗り広げる。 ・ガン距離: 20~25cm
		塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		・推奨のブローガンを使用する。 ・全体の艶が均一に引いてからの時間。
CL2		●カラーベース 2 (B) パール : 979-0904 リデュサーα1 100 : 40~70	2~4	・調色段階で塗装回数を決定する。 ・CL1よりもガン距離を離し、パターン重ね2/3で塗装する。 ・ガン距離: 25~35cm
		塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		・推奨のブローガンを使用する。 ・全体の艶が均一に引いてからの時間。
TCC		●本TDS P9 《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		・商品のTDSを参照してください。

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物とその温度領域に達してからの時間となります。

※クリアーボカシ塗装の際は『エコマルチブレンダー/スロー』のTDSを参照してください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 3CC ブロック塗装仕様



- CL1:メタ/パール【色決め】塗装回数は、隠ぺいを目安としてください。塗装回数低減は、仕上り品質(塗り肌)向上を図ります。

配合:重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント				
CL1	●カラーベース1 【色決め】 (A) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>メタ/パール 100</td> <td>:</td> <td>979-0904 リデュサーα1 15~45</td> </tr> </table>	メタ/パール 100	:	979-0904 リデュサーα1 15~45	1	<ul style="list-style-type: none"> 肌が均一になるように配慮して塗装する。 ガン距離:10~15cm (ミディアムコート) 	
	メタ/パール 100	:	979-0904 リデュサーα1 15~45				
	【ムラ取り】	1~4	<ul style="list-style-type: none"> ガン距離をやや離し、パターン重ね幅を多くし、塗りこみすぎてムラを出さないように注意する。 ガン距離:15~20cm (ミディアムコート) 				
		1	<ul style="list-style-type: none"> ガン距離を更に離し、ストロークスピードは遅めで、パターン重ねを多く取りながら、ゆっくりと塗装する。 ガン距離:20~25cm (ライトコート) 				
	1	<ul style="list-style-type: none"> エア圧を下げ、ガン距離を更に離し、吐出量を上げて、ストロークスピードは同じくゆっくりで仕上げ塗装する。 ガン距離:25~35cm (ドロップコート) 					
	レベライザーM 使用時の【ムラ取り】	(A) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>100</td> <td>:</td> <td>979-0916 レベライザーM 20~30</td> </tr> </table>	100	:	979-0916 レベライザーM 20~30	2	<ul style="list-style-type: none"> ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下での使用を推奨します。 レベライザーM添加後、【ムラ取り】と同様の工程を行ってください。 詳細は、『ネオウォーターベース レベライザーM』のTDSを参照してください。
100	:	979-0916 レベライザーM 20~30					
	塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> 推奨のプロワーガンを使用する。 全体の艶が均一に引いてからの時間。 				
CL2	●カラーベース2 カラークリヤー <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>100</td> <td>:</td> <td>979-0904 リデュサーα1 40~70</td> </tr> </table>	100	:	979-0904 リデュサーα1 40~70	3~6	<ul style="list-style-type: none"> 調色段階で塗装回数を決定する。 ガンスピードはやや早め、パターン重ね4/5で均一に塗装する。 ガン距離:25~30cm 	
	100	:	979-0904 リデュサーα1 40~70				
塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う		<ul style="list-style-type: none"> 推奨のプロワーガンを使用する。 全体の艶が均一に引いてからの時間。 					
TCC	●本TDS P9《塗り重ね可能TCC》を参照してください。		<ul style="list-style-type: none"> 商品のTDSを参照してください。 				

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨プロワーガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物とその温度領域に達してからの時間となります。

※再補修する際は使用されたTCCの仕様書に準じて乾燥後、さらに60℃×60分以上乾燥させてから行ってください。

ネオウォーターベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

■ 3CC タッチアップ塗装仕様



・ CL1:メタ/パール of 【色決め】 塗装回数は、隠ぺいを目安としてください。塗装回数低減は、仕上り品質(塗り肌)向上を図ります。

配合:重量比

工程	作業要領	塗装回数	ポイント			
ボカシ剤	<p>●ネオウォーターベース ホカシ剤</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">979-4951 フレップアンダークリアーII 100</td> <td style="text-align: center;">:</td> <td style="text-align: center;">979-495* フレップレギュレーター 100~120</td> </tr> </table>	979-4951 フレップアンダークリアーII 100	:	979-495* フレップレギュレーター 100~120	1	<ul style="list-style-type: none"> ボカシ剤が乾燥する前にカラーベースを塗装する。 詳細は『ネオウォーターベース フレップアンダークリアーII』のTDSを参照してください。 ガン距離:40~50cm
979-4951 フレップアンダークリアーII 100	:	979-495* フレップレギュレーター 100~120				
CL1	<p>●カラーベース 1</p> <p style="text-align: center;">(A)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">メタ/パール 100</td> <td style="text-align: center;">:</td> <td style="text-align: center;">979-0904 リデュサーα1 15~45</td> </tr> </table>	メタ/パール 100	:	979-0904 リデュサーα1 15~45	1~2	<ul style="list-style-type: none"> 艶、肌が均一になるように配慮して塗装し、塗り込みすぎに注意する。 ガン距離:10~15cm (ミディアムコート)
	メタ/パール 100	:	979-0904 リデュサーα1 15~45			
	<p>【色決め・ボカシ】</p>	1~4	<ul style="list-style-type: none"> ガン距離をやや離し、パターン重ね幅を多くし、極端なホカシ際を出さないよう塗り広げる。 ガン距離:15~20cm (ミディアムコート) 			
<p>【ムラ取り・ボカシ】</p> <p>ミスト荒れが生じやすい高・中温の低湿条件下では、【ムラ取り・ボカシ】工程でレベライザーMの添加使用を推奨します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">(A) 100</td> <td style="text-align: center;">:</td> <td style="text-align: center;">979-0916 レベライザーM 20~30</td> </tr> </table>	(A) 100	:	979-0916 レベライザーM 20~30	1~2	<ul style="list-style-type: none"> ガン距離を更に離し、色決め時のホカシ際を確認しながら、パターン重ねを多く塗り広げる。 ガン距離:20~25cm (ライトコート) 	
(A) 100	:	979-0916 レベライザーM 20~30				
ニゴリ	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">(A) 10</td> <td style="text-align: center;">:</td> <td style="text-align: center;">(B) 90</td> </tr> </table>	(A) 10	:	(B) 90	2~3	<ul style="list-style-type: none"> ボカシ部分の状態によって省略可能。 CL1のボカシ部分より広めに塗装する。 ガン距離:20~25cm
	(A) 10	:	(B) 90			
<p>塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う</p>		<ul style="list-style-type: none"> 推奨のブローガンを使用する。 全体の艶が均一に引いてからの時間。 				
CL2	<p>●カラーベース 2</p> <p style="text-align: center;">(B)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">カラークリアー 100</td> <td style="text-align: center;">:</td> <td style="text-align: center;">979-0904 リデュサーα1 40~70</td> </tr> </table>	カラークリアー 100	:	979-0904 リデュサーα1 40~70	3~6	<ul style="list-style-type: none"> 調色段階で塗装回数を決定する。 ガンスピードはやや早め、パターン重ね4/5で均一に塗装する。 ガン距離:25~30cm
	カラークリアー 100	:	979-0904 リデュサーα1 40~70			
<p>塗装後、エアブローを開始し艶が引くまで確認 艶が引いてから更に10分以上のエアブローを行う</p>	+ 1~2	<ul style="list-style-type: none"> CL1のボカシ際に色差がある場合ボカシ際のみ、最後に追加塗装する。 推奨のブローガンを使用する。 全体の艶が均一に引いてからの時間。 				
TCC	<p>●本TDS P9 《塗り重ね可能TCC》を参照してください。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 商品のTDSを参照してください。 			

※各コート後のフラッシュオフ時には推奨ブローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまで乾燥させてください。

※各工程間のセッティングタイムは厳守してください。仕上り品質に影響します。

※各乾燥は被塗物とその温度領域に達してからの時間となります。

※クリアーボカシ塗装の際は『エコマルチブレンダー/スロー』のTDSを参照してください。

ネオウォーターベース

For Professional Use Only

補修塗膜構成 / 色タイプ総合マトリックス

近年複雑多様化する補修塗膜構成、色タイプをロックペイントとして整理、統合致しました。

■補修塗膜を「層 = レイヤー」として構成

補修塗膜	塗装工程		
クリアー層	TCC ... Top Coat Clear (トップコートクリアー) <ul style="list-style-type: none"> ・TCC : 艶有り ・TCC : 艶消しクリアー仕上げ 		
カラー層	UCC ... Under Coat Clear (アンダーコートクリアー)		
	CL2 ... Color Layer 2 (カラーレイヤー-2)	2 段 目 の 層	カラーベース2 <ul style="list-style-type: none"> ・ソリッド (カラーベース) ・メタ/パール (カラーベース) ・パール/特殊原色 (カラーベース) ・カラークリアー (カラーベース)
	CL1 ... Color Layer 1 (カラーレイヤー-1)	1 段 目 の 層	カラーベース1 <ul style="list-style-type: none"> ・ソリッド (カラーベース) ・メタ/パール (カラーベース)
プラサフ層	プラサフ <ul style="list-style-type: none"> ・TCS ... Top Coat Solid Color (トップコートソリッドカラー) <ul style="list-style-type: none"> ・077Lモノコート ・088L 一般/HF原色 		

■色タイプ 総合マトリックス

■標準塗装仕様

色タイプ		CL1 (カラーレイヤー-1) カラーベース1	CL2 (カラーレイヤー-2) カラーベース2	TCC (トップコートクリアー) ○有 / ×無
コード	名称			
2CS	2コート ソリッド	ソリッド	—	○
2CM/P	2コート メタ/パール	メタ/パール	—	○
3CP	3コート パール	ソリッド	パール/特殊原色	○
3CC	3コート カラークリアー	メタ/パール	カラークリアー	○

・下記の色タイプを塗装の際は、標準塗装仕様のCL1およびCL2と一致するカラーベースの色タイプを参照してください。

3CS	3コート ソリッド	ソリッド	ソリッド/カラークリアー	○
3CM/P	3コート メタ/パール	ソリッド	メタ/パール	○
3CWE	3コート ダブルエフェクト	メタ/パール	メタ/パール	○

・1CSの色タイプを塗装の際は、077L『プロタッチ モノコート』のTDS、088L『パナロック』のTDSを参照ください。

1CS	1コート ソリッド	TCS (トップコートソリッドカラー)	—	×
-----	-----------	---------------------	---	---